

ディプロマ・ポリシー（卒業認定の方針）

機械工学科

機械工学科における以下の学科教育目標を実現するため、学生が身につけるべき具体的学習成果の達成を卒業認定の方針とします。成果の達成状況は、平素の学習状況及び定期試験等によって判定し、卒業認定の要件を満たした者には、卒業判定会議の議を経て、校長が卒業を認定します。

- (1) ものづくり能力
機能性・安全性を追求する材料・材料力学分野、エネルギーの効率的利用を追求する熱・流体力学分野、「ものづくり」の手法を追求する工作・加工分野、高精度化を追求する計測・制御分野等の基礎を中心に機械工学を体系的に修得させ、問題解決能力の素養をつけさせる。
- (2) 基礎学力
実験・実習に多くの時間を充ち、「ものづくり」を通じて工学基礎理論の理解を促進し、「ものづくり」の精神を肌で感じる機械技術者を育成する。
- (3) 問題解決能力
社会の求める実践的技術者を育成するため、「ものづくり」を中心に据えた教育を行う。
- (4) コミュニケーション能力
校外実習、工学ゼミ及び卒業研究等を通じてコミュニケーションや発表のスキルをもつ技術者を育成する。
- (5) 技術者倫理
「ものづくり」において環境を考慮し、資源の無駄を無くす視点を持つとともに、技術者としての洞察力、協調性及び社会性を身につけさせる。

電気・電子システム工学科

電気・電子システム工学科における以下の学科教育目標を実現するため、学生が身につけるべき具体的学習成果の達成を卒業認定の方針とします。成果の達成状況は、平素の学習状況及び定期試験等によって判定し、卒業認定の要件を満たした者には、卒業判定会議の議を経て、校長が卒業を認定します。

- (1) ものづくり能力
電気エネルギーの運用（発生、輸送、変換）に関する原理、エレクトロニクス基礎、コンピュータによる情報・通信（情報の保持・変換・伝達）の概念を理解している技術者を養成する。
- (2) 基礎学力
現象の観察・体験を出発点として学習することによる電気・電子回路及び電気磁気学等の基礎的内容を修得させる。
- (3) 問題解決能力
実験、研究の背景を意識し、実験データを科学的に分析でき、簡単な考察を加えることのできる技術者を養成する。
- (4) コミュニケーション能力
得られた成果を短い報告書にまとめ、わかりやすく口頭発表する能力を修得させる。
- (5) 技術者倫理
社会における技術者の役割を意識した技術者を養成する。

情報工学科

情報工学科における以下の学科教育目標を実現するため、学生が身につけるべき具体的学習成果の達成を卒業認定の方針とします。成果の達成状況は、平素の学習状況及び定期試験等によって判定し、卒業認定の要件を満たした者には、卒業判定会議の議を経て、校長が卒業を認定します。

- (1) ものづくり能力
ハードウェア・ソフトウェアに関する知識・技能を総合的に活用することにより、実現可能なコンピュータシステムを構築できる能力を養う。

- (2) 基礎学力
電気回路・デジタル回路・ソフトウェア開発などの実験・実習を通して、数理基礎をはじめとした情報工学における個々の基礎理論を深く理解させるとともに、総合力を養う。
- (3) 問題解決能力
現実の問題や未知の問題に対して、問題の本質を的確に捉え、コンピュータを活用した問題解決手法を自ら立案・推進できる能力を養う。
- (4) コミュニケーション能力
実験・実習・研究の結果を、筋道を立てて報告書にまとめ、説得力のある口頭発表を行なう能力を養う。
- (5) 技術者倫理
情報モラルを有し、コンピュータやネットワークが社会に与える影響を考慮できる技術者を育成する。

環境都市工学科

環境都市工学科における以下の学科教育目標を実現するため、学生が身につけるべき具体的学習成果の達成を卒業認定の方針とします。成果の達成状況は、平素の学習状況及び定期試験等によって判定し、卒業認定の要件を満たした者には、卒業判定会議の議を経て、校長が卒業を認定します。

- (1) ものづくり能力
社会基盤への要求やその役割について理解させ、さまざまな視野から構造物や社会システムについての設計・開発能力を養成する。
- (2) 基礎学力
数学・自然科学の基礎や専門の基礎理論について理解させ、実験実習を通して実践的技術者に欠かせない計測技術やデータ整理技術を養成する。
- (3) 問題解決能力
防災、環境、社会資本整備等について自ら学習し、問題を提起する能力を養う。
また、問題の解決策を豊かな発想で創造するための能力をもつ技術者を育成する。
- (4) コミュニケーション能力
実験や研究の成果について、記述力、口頭発表能力及び討議能力を養成する。
- (5) 技術者倫理
日本や世界の文化・歴史、技術が社会に与える影響を理解させ、また、自らにも社会にも誠実であり、技術者としての誇りと責任感を養成する。

建築学科

建築学科における以下の学科教育目標を実現するため、学生が身につけるべき具体的学習成果の達成を卒業認定の方針とします。成果の達成状況は、平素の学習状況及び定期試験等によって判定し、卒業認定の要件を満たした者には、卒業判定会議の議を経て、校長が卒業を認定します。

- (1) ものづくり能力
与えられた設計条件の下で、様々な問題を解決し、バランス良くデザイン・提案する能力を養成する。
- (2) 基礎学力
建築分野に必要な知識や技術を理解させ、それらを応用して問題を解決する能力を養成する。
- (3) 問題解決能力
建築図面を理解し、設計する能力を養成する。ドローイングやCADによる作図技術や模型製作技術を養成する。
- (4) コミュニケーション能力
設計意図や内容を十分に伝達できる説明力とプレゼンテーション力を養成する。
- (5) 技術者倫理
日本や世界の文化や歴史を多面的に認識する能力を養成する。